

# インターネットを使った体験的交流活動

## 交流団体名

日本側		相手側		
自治体名	交流団体名	国・地域名	自治体名	交流団体名
兵庫県市川町	市川町立瀬加小学校	イギリス	ゲイツヘッド	チョップウェルプラ イマリースクール

## 交流に至った経緯、特徴

谷間を校区とする環境から、国際的文化に触れる機会が希薄であり、子どもたちの国際理解教育の推進には、体験的なふれあいの少ない地域である。そこで、本校では、2008年度より国際理解教育に交流活動を取り入れ、イギリスの学校とインターネットを利用した体験的な活動を推進してきた。

そして、体験的で実践的なコミュニケーション活動への意識化とし、相互理解と友好親善をより高め、国際的な視野をより深め、日々の生活の中で主体的な活動に実践化できる児童を育成することをねらいとしている。今回、相互訪問を推進するまでに交流活動を高めることができた。



【エコキャッププロジェクト】



【訪問体験—チョップウェルプライマリースクールにて—】

## 今後の展望・課題

交流活動をすすめ、お互いの学校が交流への理解を深め、交流校児童への友だち意識としての心のふれあい、保護者の国際交流への深い理解がともなえば、直接交流を実現するエネルギーになり得ることが今回の実践で意識化できた。

## 優れた特色

相互訪問やグリーティングカード交換等のリアルな事業を、児童自らがインターネットを活用して相互に情報発信することで、一層交流が深まっている。オンライン翻訳サポートなどの外部支援を有効に活用して、言語の障壁を最小限に抑えるなどの工夫もあり、語学力に不安を持つ学校や家庭にとって大変参考となる取り組みである。